

短冊に願いを込めて 子育てサロン「さくらんぼ」

にこにこ甘楽の子育て支援センター「にこにこキッズかんら」は、主に乳幼児を持つ親子が気軽に集い交流できる場所として開設から3年を経過し、多くの皆さんに利用していただいています。

身体測定やカレンダー製作、音楽に合わせて体を動かすリトミックなどのほか、民生委員・児童委員が子育てを応援する子育てサロン「さくらんぼ」のイベントが行われています。

7月7日にはさくらんぼの「七夕飾りを作ろう」が開かれ、親子15組が参加しました。保育士による七夕の話の紙人形劇を楽しんだ子どもたちは織姫と彦星のタペストリー（壁掛け）を製作したり、短冊に願い事を書いて竹に飾りました。

完成した七夕飾りはにこにこ甘楽の玄関前に設置され、訪れる人の目を楽しませてくれました。



短冊に思い思いの願いを書く親子



一つひとつ飾りつけて完成



↑各家庭に飾れるように作ったタペストリー
←皆さんを出迎えた七夕飾り

利用者の声



白石貴美子さん
鈴果ちゃん（福島）

友だちに誘われたのがきっかけでイベントの時などに参加しています。近くて気軽に利用できるのも、とても良いです。

主任児童委員

関谷かおりさん（善慶寺）

「にこにこキッズかんら」ではいつも保育士さんたちの工夫がたくさん見られ、感心させられます。私たち民生児童委員は、月2回の「さくらんぼ」の日にお手伝いしています。子育てを一人で抱え込んだり悩んだりせずに、この場所に来て多くの人や子育て仲間と知り合うととてもいい機会なので、ぜひ普段から利用していただきたいと思います。

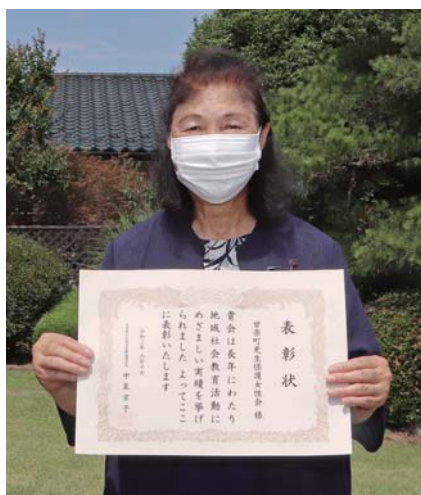
皆で力を合わせ明るく暮らしやすい社会に

犯罪や非行のない地域社会の実現を目指す“社会を明るくする運動”の7月の強調月間に合わせて、富岡甘楽「社明」推進委員会が2日に役場を訪問し、メッセージを伝達しました。

内閣総理大臣からのメッセージを富岡甘楽保護区保護司会の安藤幸隆さん（秋畑）が、また、群馬県更生保護女性会からのメッセージを町更生保護女性会の吉田ひろ子さん（上野）が朗読し、安全で安心な明るい社会を築くため、それぞれの立場において力を合わせていくことを呼び掛けました。



メッセージを朗読する安藤さん（中央）と参加者の皆さん



吉田会長

社会教育の振興に貢献 町更生保護女性会

甘楽郡社会教育振興協議会の社会教育優良団体として、甘楽町更生保護女性会（吉田ひろ子会長）が表彰されました。

同協議会では、郡内の社会教育振興の発展に貢献した人や団体を毎年表彰しています。

同会は薬物乱用防止の啓発活動として「しおり人形」を作成し、小中学生に配布しているほか、通学路や危険と思われる箇所などのパトロールを実施し、地域の見守り活動を通じて青少年の健全育成に尽力され、その功績が認められました。

ソフトテニスで関東ブロックへ 大河原さん・佐野さん

（公財）日本ソフトテニス連盟の「競技者育成プログラムStep-2（U-14）」の第2次選考会が6月19日に前橋市で開かれ、甘楽中学校2年の大河原 兜さんと佐野天音さんが群馬県代表に選ばれました。

2人は8月27～29日に埼玉県熊谷市で開かれる関東ブロックStep-3に出場します。県内でも、同じ中学校から男女2人が選ばれるケースは少なく、町内中学校では初めての快挙です。

2人とも全日本U-14代表を目指し日々練習に励んでいます。



活躍を誓う大河原さん（右）と佐野さん

むし歯ゼロ おめでとう

6月の「歯と口の健康週間」に合わせ、(公社)富岡甘楽歯科医師会と町は、歯と口腔が健康な親子を表彰しました。

この表彰は、令和2年度3歳児健診受診者91人の中から、むし歯がなく、口腔の状態が優良な親子を対象としたものです。

日ごろから歯と口の健康づくりに努め、健康な歯を維持して表彰された親子17人を紹介します。

なお、毎年6月に実施されている「群馬県よい歯のコンクール」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も中止となりました。



3歳児健診でむし歯のないお子さんは84人(保有率7.7%)でした。



吉田慶子さん・
絢音ちゃん 親子



鈴木智美さん・
岳くん 親子



篠崎愛実さん・
颯くん(左) 親子



太田もと子さん・
歩乃禾ちゃん 親子



山田千春さん・
桃舞くん 親子



荒木瑞恵さん・
陽智くん 親子



小根澤麻衣子さん・
夕太くん(左)・
すず子ちゃん(右) 親子



田口結希さん・
智捺ちゃん 親子

少年の主張 郡大会で自分の思いを堂々と発表

第1回県少年の主張西部地区郡大会が7月3日、下仁田町文化ホールで開かれました。

上野、神流、下仁田、南牧、甘楽の各町村を代表する中学生8人が参加し、日常生活の中で感じたことや考えたことなどを発表しました。町大会で最優秀賞を受賞した甘楽中の森田望花さん(1年)、町田のはらさん(2年)、浦辺惟愛さん(3年)が出場し、審査の結果、森田さんと町田さんが最優秀賞、浦辺さんが優秀賞に選ばれました。

最優秀賞の2人は、8月7日に富岡市生涯学習センターで開かれる西部地区大会に出場します。



左から 町田さん、森田さん、浦辺さん

町の魅力を撮り続けて35年 ふるさと大使飯野さん

かんらふるさと大使で写真家の飯野文江さん（埼玉県上尾市）は、昭和から平成の時代に甘楽町を撮影した写真集『すばらしき里山 上州 甘楽』（日本写真企画 発行）を今年3月に出版し、町に50冊寄付されました。

小幡地区出身の飯野さんは結婚を機に町を離れましたが、交通事故の後遺症を癒すために町を訪れる回数が増え、ふるさとの魅力を写真に残したいと撮影を始めました。以来35年にわたり町並みや名所旧跡、伝統行事、住民の姿などにカメラを向けシャッターを押し続けてきました。

出版した写真集はこれまでに『すばらしき甘楽っ子』など3冊で、4冊目となる今回は今まで撮りためた写真の中からよりすぐった120点を掲載しています。道の駅甘楽などで販売しているほか、町図書館で貸し出しできます。飯野さんが写した町の魅力をぜひご覧ください。



飯野文江さん
(7月、名勝楽山園内の泉水にて)

町の自然や風景の素晴らしさはもちろん、情に厚く優しい人たちのいる甘楽町の良さを多くの人に知ってほしいです。甘楽町にたくさんの方が訪れてくれることを願い、これからも人々の温もりや史跡、伝統行事などを写真を通して伝えていきたいと思います。

『すばらしき里山 上州 甘楽』 掲載写真の一部を紹介します



羊公園の親子



こいのぼりの里



アジサイ咲く雄川堰



山の家族